

「第五期いわき市子ども読書活動推進計画（素案）」に係る
市民意見募集（パブリックコメント）の結果について

- 1 意見募集期間：令和8年1月6日（火）から令和8年1月20日（火）
- 2 意見提出者数：1名
- 3 意見提出件数：4件
- 4 意見提出方法：電子メール
- 5 意見概要及び考え方

No	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
1	いわき市総合図書館に併設されている「学習室」を「小名浜」「勿来」「常磐」「内郷」「四倉」の図書館にも併設し、子どもから大人まで利用できる「生涯学習ラウンジ」として、整備する	学習室については、いわき総合図書館及び小名浜図書館に設置しております。また、中央公民館においても、児童生徒の長期休み等に合わせた期間を定めて、学習室を設置しています。 勿来・常磐・内郷・四倉の図書館への新たな設置は、スペースの制約があり、現状では難しい状況ですが、併設している公民館と連携しながら、検討してまいります。
2	「図書館と公民館、支所等」の行政機関と複合化し、社会教育施設として拡充を図る	現在、常磐地区（湯本駅周辺）及び四倉地区（四ツ倉駅周辺）において、図書館機能や公民館機能等を集約したまちづくりが検討されています。 本市では、持続可能で暮らしやすいまちづくりの実現のため、これからの時代に必要な機能・サービスの受け皿として、施設の複合化や既存施設の有効活用なども視野に入れながら、効果的な施設配置のあり方を検討しているところです。
3	学校図書館において、1校に1人、司書を常駐・拡充し、コンピュータ室や視聴覚室との複合化を図り、「情報センター」「学習センター」として再整備する	本市における学校司書の配置状況については、学校司書1人が数校を兼務することで全校配置を実現しています。 また、国によるGIGAスクール構想の実現に向け、児童生徒1人1台の端末配備及び学校内の情報通信ネットワークの整備を実施しているところです。今後も、学校・児童生徒の実態に応じて、図書室内での端末の利用等、学校図書館の機能の充実に努めてまいります。
4	ビブリアバトルを弁論大会と併せて行い、「読書の街」としてブランドを確立する	現在実施されているビブリアバトルや弁論大会は、主催や目的が異なる事業であることから、同時に実施することは課題がありますが、子どもたちの発達段階や学習状況、興味・関心に応じた多様な取組を進めていきたいと考えております。